

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 SPOONMAN KIDS		
○保護者評価実施期間	令和7年 5月 12日 ～ 令和7年 6月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 12日 ～ 令和7年 6月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7 年 6月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	歯科との連携が取れ、積極的に歯磨きや歯科支援を取り入れています。	児童の歯磨き時間に歯科衛生士が来て、歯磨き指導やアドバイスを頂いています。また隣に歯科があるため、歯科休業日には歯科探検という形で歯科や病院へ慣れてもらう活動も取り入れています。	歯や病院に関しての困りごとは児童によって様々なので、個別に対応できるよう取り組んでいきたいと思っています。
2	新築にて清潔感やバリアフリー、複数の部屋があり用途によって使い分けることが出来ます。	身体の子どもの受け入れも考えているため、バリアフリーです。複数の部屋があるため、負の感情が高ぶってしまった時のカームダウン室として使用する部屋として取り入れています。	活動に応じて広い部屋を構造化したり、いっぱい体を動かせるよう物の位置や部屋の使い方を検討していきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が設けられるなど家族への支援やきょうだい同士の交流の機会がもうけられるなどきょうだいへの支援がされていません。	立ち上げから間もなく職員の経験不足などから企画力やマンパワー不足が考えられます。また保護者様からの情報やニーズの把握不足も考えられます。	・保護者様の情報やニーズの把握をしていきます。 ・保護者様やきょうだい児参加型のイベントを検討していきます。 ・様々なことを踏まえて職員間で話し合っていきます。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がないです。	・地域資源の把握不足や地域交流の薄さが考えられます。	・ご利用児のニーズや保護者様のニーズ、地域資源の把握をしていきます。 ・今後公園や児童館へのお出掛けなど地域の子どもたちとの交流する機会を検討していきます。
3			